

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和6年6月25日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和6年7月25日（木）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

下田土木事務所の道路事業	1
	(下田土木事務所)

◎令和6年7月の行事予定

行事予定表	23
統計冊子「新 南伊豆のすがた」令和5年版の発行について	25
	(賀茂地域局)
賀茂キャンパスを活用した取組	26
	(賀茂地域局)
7月の防災講座	28
	(賀茂地域局)
南伊豆町役場におけるサテライト地震防災センターの設置	29
	(賀茂地域局)
災害ボランティア研修会の開催	32
	(賀茂地域局)
“税金は何に使われているの？”～小学校で租税教室を行います～	34
	(下田財務事務所)
賀茂地域オンライン就農相談会の開催	35
	(賀茂農林事務所)
農薬危害防止運動中央講習会の開催	38
	(賀茂農林事務所)
夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について	39
	(下田土木事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし よしゆき 山梨 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの ちえこ 深野 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ばば ふじお 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま ひろふみ 鷲山 裕史
10	下田土木事務所長	さとう まさふみ 佐藤 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが としの 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要



重要施策発表

下田土木事務所の道路事業

2024.6.25

重要施策発表「下田土木事務所の道路事業」です。

本日の内容

- 1 下田土木事務所の予算
- 2 賀茂地域の主な道路事業
- 3 景観などの道路施策

本日の内容は

- 1 下田土木事務所の令和6年度予算
 - 2 賀茂地域の主な道路事業
 - 3 景観などの道路施策
- となります。

I 下田土木事務所の予算 令和6年度（R05-R06繰越含む）



※ 四捨五入により全体の合計と各事業の合計に差異あり。

※ (R5-6繰越事業費 45億9,988万)

本日時点における下田土木事務所の令和6年度の予算となります。
当初、繰越を含めた全体予算は約83億円です。
このうちの約半分の50%は道路の予算となります。
本日は予算の大半を占める道路事業について、紹介をさせていただきます。

道路新設 県道河津下田線（新規工区）

- 沿岸部と内陸部を結ぶ道路ネットワーク構築
- 防災機能、国道の渋滞緩和を強化
- 令和5年度は測量調査、概略設計を実施
- 令和6年度は新規工区の詳細設計実施！



【実施箇所】 河津町縄地から下田市落合

令和5年3月19日に伊豆縦貫自動車道河津下田道路の「河津七滝IC」から「河津逆川IC」が開通しました。

下田土木事務所では、この整備効果を管内全体に還流させるための「肋骨道路」や「アクセス道路」を整備しています。

肋骨道路の一つとなる県道河津下田線の道路新設工事です。

県道河津下田線は伊豆縦貫自動車道（仮称）下田北ICと国道135号を結ぶ伊豆地域の道路ネットワークを形成する重要な道路です。

このうち、拡幅等が未実施である河津町縄地から下田市落合の延長約3.3kmの整備を進め、災害に強い道路ネットワークの構築や円滑な交通の確保等を図っていきます。

■路線名：一般県道河津下田線

■箇所名：賀茂郡河津町縄地から下田市落合

■事業期間：令和6年度～令和10年代半ば

■全体事業費：約90億円

■事業延長（新規工区）：L=3300m（L=1700m（内トンネル750m））

道路新設 県道河津下田線（河津工区）

- 観光地を迂回する道路ネットワークの構築により渋滞を緩和
- 河津町内では縄地地区で用地取得を進めながら道路工事を推進



【実施箇所】 河津町縄地

県道河津下田線 河津町縄地の河津工区となります。
切土、盛土、構造物などを施工中です。

- 路線名：一般県道河津下田線（河津工区）
- 箇所名：賀茂郡河津町縄地
- 事業期間：平成7年度～令和10年代前半
- 全体事業費：約13億円
- 事業延長（縄地工区）：L=0.45km

道路新設 県道河津下田線（下田工区）

- 沿岸部と内陸部を結ぶ道路ネットワークにより、防災機能を強化
- 下田市内は、落合地区で道路工事を推進



【実施箇所】 下田市落合

県道河津下田線 下田市落合の下田工区となります。
河川付替工事、詳細設計などを実施中です。

- 路線名：一般県道河津下田線（下田工区）
- 箇所名：下田市落合
- 事業期間：平成7年度～令和10年頃
- 全体事業費：約24億円
- 事業延長（落合工区）：L=1.2km

道路拡幅 国道136号（下田市五丁目）

伊豆縦貫道の効果を最大化するため、アクセス道路の整備を推進
国・県・下田市が連携し、関連する道路整備を推進



同じく伊豆縦貫道のアクセス道路となる
国道136号下田市5丁目 道路拡幅工事です。

国道135号中島橋交差点(下田市東本郷)から下田第1、第2トンネルを西進した下田市吉佐美に至る箇所は、「大型車のすれ違いが困難な狭隘箇所が点在」しているため、慢性的な渋滞が発生しています。

このため、この渋滞区間のうち、「伊豆縦貫自動車道(仮称)下田IC」と連結が計画され、交通量の増加が予想される当該区間の拡幅工事を優先して行っています。

- 路線名: 国道136号
- 箇所名: 下田市五丁目
- 事業期間: 令和2年度～令和10年代前半
- 全体事業費: 約10億円
- 事業延長: L=0.4km

道路拡幅 県道下田松崎線（松崎町小杉原）

- 線形改良により、安全で円滑な交通の確保
- R5は詳細設計・用地買収、R6からは**拡幅工事を推進**



【実施箇所】松崎町小杉原

同じく肋骨道路となる
県道下田松崎線 道路拡幅工事です。

県道下田松崎線は、国道136号と伊豆縦貫自動車道(仮称)下田北ICを結ぶ東側の肋骨道路として、西側の県道河津下田線と同様に伊豆地域の道路ネットワークを形成する重要な道路です。

小杉原工区は、線形が悪く、幅員も狭小であるため、地元住民、観光客の安全で円滑な交通の確保や日常生活の利便性向上を目的に、拡幅改良を行っています。

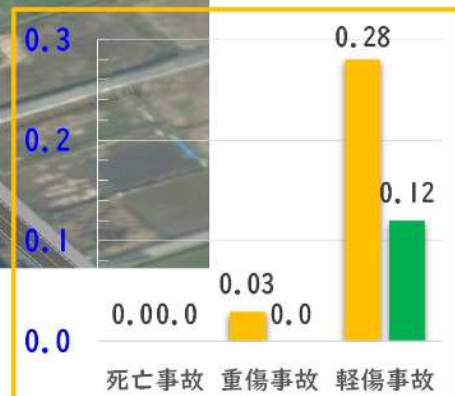
- 路線名:主要地方道下田松崎線
- 箇所名:賀茂郡松崎町小杉原(こすぎはら)
- 事業期間:令和2年度～令和8年度
- 全体事業費:約3.5億円
- 事業延長:0.2km

ラウンドアバウト (一)下田南伊豆線 (下田市大賀茂)

- 平常時の交通事故対策や災害時の自立的な交通処理を目的
- 令和6年度は詳細設計を進めていきます



【導入前後】
年間平均交通事故発生件数



- 導入前：導入前3年間の1箇所・1年間の平均値
- 導入後：導入前次年度の1箇所・1年間の平均値

静岡県では、交通安全、防災等に対する有効な交通処理方法としてラウンドアバウトの普及に努めています。

ラウンドアバウトを導入することにより、「出合頭事故の発生抑制」や「信号待ちの解消」などの効果が期待されます。

下田土木事務所管内においても県道下田南伊豆線にて実施を検討しています。

- 路線名：(一)下田南伊豆線(ラウンドアバウト)
- 箇所名：下田市大賀茂(おおがも)
- 事業期間：令和6年度～令和7年度
- 全体事業費：約1億円
- 事業延長：1交差点

橋梁耐震事業 国道136号 黒浜栈道橋

- ・ (国) 136号黒浜栈道橋の耐震工事を実施
- ・ 大規模災害発生時の救命支援や支援物資の輸送路を確保します

地震に負けない橋脚にします！



【実施箇所】西伊豆町仁科

国道136号 黒浜栈道橋 橋梁耐震事業です。

下田土木事務所では「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」の対象橋梁55橋の耐震工事を進めています。

そのうちの1橋である黒浜栈道橋は、緊急輸送路上の橋梁ですが、大規模地震に備えた耐震性能が不足していることが判明したため、必要な耐震対策を実施しています。

今月、工事が完了するため、引き続き、経年変化等による鋼部材、コンクリート部材の劣化・損傷の修繕工事を発注して、施設の長寿命化を図っていきます。

- 路線名: 国道136号 黒浜栈道橋
- 箇所名: 西伊豆町仁科
- 事業期間: 令和3年度～令和6年度
- 全体事業費: 約3億円
- 事業延長: 耐震補強工 N=1式

橋梁補修事業 国道414号 七滝高架橋

- 橋梁塗装を実施し長寿命化を進めます
- 令和5年度**塗装色を決定！**本年度**以降**本格的に工事を行います



【実施箇所】河津町梨本

国道414号 七滝高架橋 橋梁補修事業です。
昭和53年伊豆大島地震で被災した国道の復旧事業として昭和56年に完成した七滝高架橋です。
調査をしたところ、経年劣化等による床版のひび割れや鉄筋露出が進行していたので、修繕を実施し、施設の長寿命化を図ります。
塗装にも浮きや錆などが確認されていますので、今年度以降に塗装を実施する予定です。

- 路線名：国道414号(河津町梨本)
- 箇所名：賀茂郡河津町梨本
- 事業期間：令和3年度～令和10年代半ば
- 全体事業費：約18億円
- 事業延長：N=1橋

トンネル補修事業 国道136号 小洞トンネル

経年劣化等による老朽化が進行
利用者の安全・安心向上のための修繕を実施



【実施箇所】 西伊豆町小洞

下田土木事務所管内は急峻な地形に囲まれているため、明治37年に建設された天城トンネルを始め、下田土木事務所が管理するトンネルは52本あります。

多くのトンネルは昭和30年代から昭和50年代に建設されており、全体の85%が昭和の構造物となっています。

令和5年度は20本のトンネルを修繕し、令和6年度は7本のトンネルを修繕する計画です。

今後も引き続き、点検、修繕を継続していきます。

パワーポイントで紹介しているのは、国道136号 小洞(こぼら)トンネルの補修状況です。

小洞(こぼら)トンネルは昭和50年に建設されたトンネルのため、経年劣化等による覆工の老朽化の進行が確認されました。

このため、覆工の剥落防止の修繕を行いました。

- 路線名: 国道136号 小洞(こぼら)トンネル
- 箇所名: 西伊豆町宇久須(うぐす)
- 事業期間: 令和3年度～令和5年度
- 全体事業費: 約2千万円
- 事業延長: 0.162km

トンネル照明LED化 国道414号 新天城トンネル

- 道路照明のLED化により、
- トンネル内の視認性の向上や照明の長寿命化を図ります



下田土木事務所が管理するトンネルは、先ほどのとおり52本で、照明が設置されているトンネルは43トンネルです。

多くのトンネルの道路照明は低圧ナトリウム灯でしたが、これをLEDにすることによる長寿命化により「維持管理コストの縮減」「交換作業のための交通規制の削減」や「環境負荷の低減」が図られます。

令和5年度までに33本のトンネルのLED化が完了しました。

令和6年度は予算配分がありませんでしたが、引き続き予算要望を行い、交換を行っていきます。

パワーポイントで紹介しているのは、国道414号 新天城トンネルの交換状況です。

既存の照明は238基のナトリウム灯具が設置されていましたが、LED化により61基の灯具で済むようになりました。

- 路線名: 国道414号 新天城トンネル
- 所在地: 賀茂郡河津町梨本
- 事業期間: 令和3年度
- 全体事業費: 約1億円
- 事業延長: 0.8km(トンネル照明N=61基をLED化)

無電柱化事業

- 無電柱化による情報通信ネットワークの信頼性向上
- 安全で快適な通行空間の確保
- 良好な景観・住環境の形成、災害の防止



無電柱化事業です。

下田土木事務所では、国道136号下田市5丁目付近、都市計画道路下田港横枕線、国道136号西伊豆町仁科にて無電柱化事業を行っています。

能登半島地震や東日本大震災などでは、電気・通信柱の倒壊により、避難するための道、応援するための道の通行止めが多発しました。

無電柱化は良好な景観や住環境の形成のほか、災害時における緊急車両等の通行路の確保に重要となりますので、引き続き、事業を進捗させていきます。

交通安全対策 グリーンベルト+ドットライン

通学経路における交通安全施設の整備

児童と車の接触事故をきっかけに

関係者と連携し、速やかに対策工を実施しました



交通安全対策です。

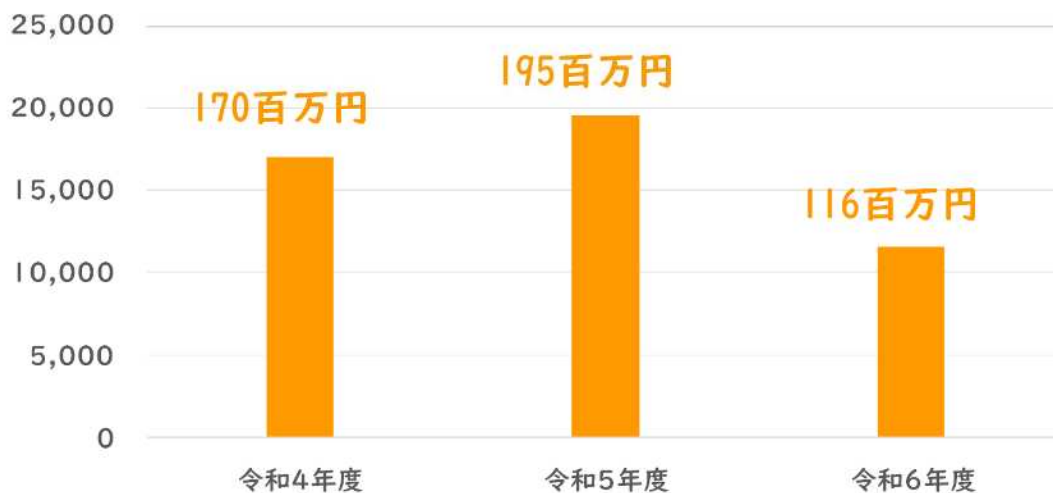
通行車両、歩行者の安全性を確保するため、路肩の改修、カラー舗装、防護柵設置、区画線再設置などを行っています。

昨年度も児童と車の接触事故があった箇所について早急に対策工を実施しました。

景観・安全を確保する道路施策

- 通行の支障となっていた山側法面の支障木を伐採
- 安全で美しい道路環境の確保
- 出来る箇所から大胆に伐採していきます。是非ご協力を！

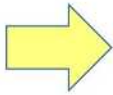
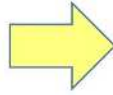
下田土木事務所管内 除草・伐採・防草費



下田土木事務所管内で行っている伐木伐採工事などの紹介です。
伐木伐採などの予算はグラフのとおり、厳しい状況が続いています。
以前のように除草や伐木伐採を広範囲にわたり、複数回行うことが出来なくなっています。
このため、下田土木事務所では「大胆な伐採」や「草を生やさない工法」の採用のほか、「効率的な工夫」を行っています。

伐木・伐採工 景観・安全を確保する道路施策

- 通行の支障となっていた山側法面の支障木を伐採
- 安全で美しい道路環境の確保



伐木・伐採の状況です。

通行の支障となっていた山側法面の支障木を伐採しました。

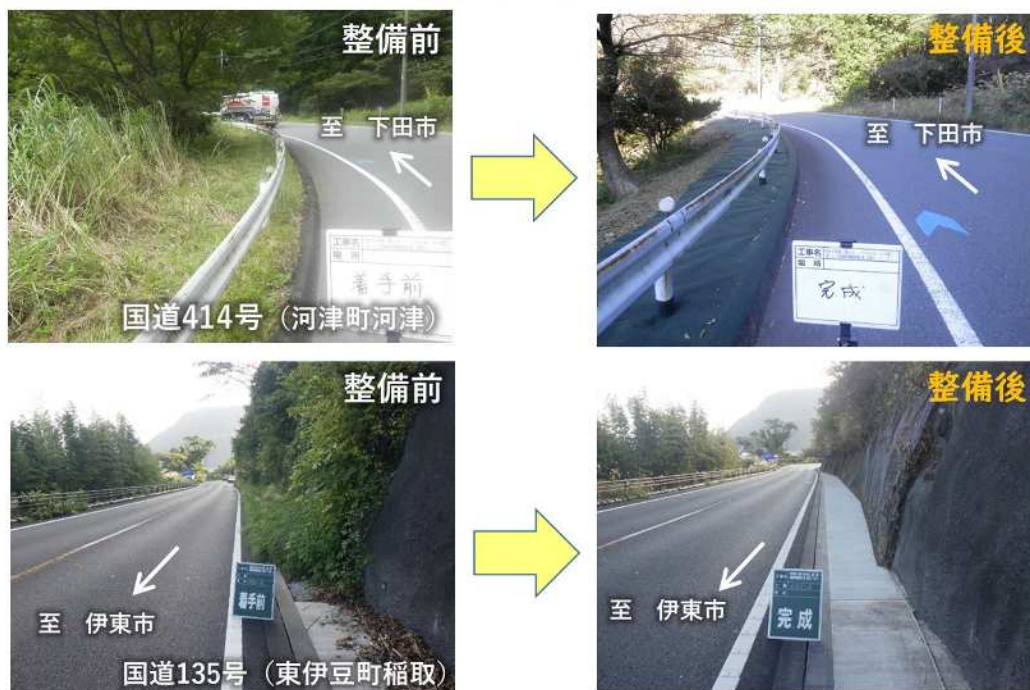
職員による事前調査はもとより、地元・役場と調整を行い、重点箇所を決定したのち、工事を行います。

施設管理にも支障をきたすような箇所は、細々と必要最小限で小さく刈るのではなく、大胆に伐採した事例です。

これにより、交通規制を伴う伐採工事の間隔をあげるだけでなく、見通しが良く、かつ安全で美しい道路環境の確保ができました。

防草工 景観・安全を確保する道路施策

- 安全で美しい道路環境を確保
- 除草・防草対策を集中的に実施



防草対策の状況です。

草は、木の枝や幹と異なり、直ぐに繁茂します。

このため、積極的に防草シートやコンクリート打設など行い、草の繁茂を長期(永久)に防止する「草を生やさない工事」をおこなっています。

自転車等にも優しい、安全で美しい道路環境を確保していきます。

修景伐採 景観・安全を確保する道路施策

修景伐採で眺望が復活
民地が多いため是非御協力を！

下田石廊崎松崎線（南伊豆町入間）



整備前



整備後

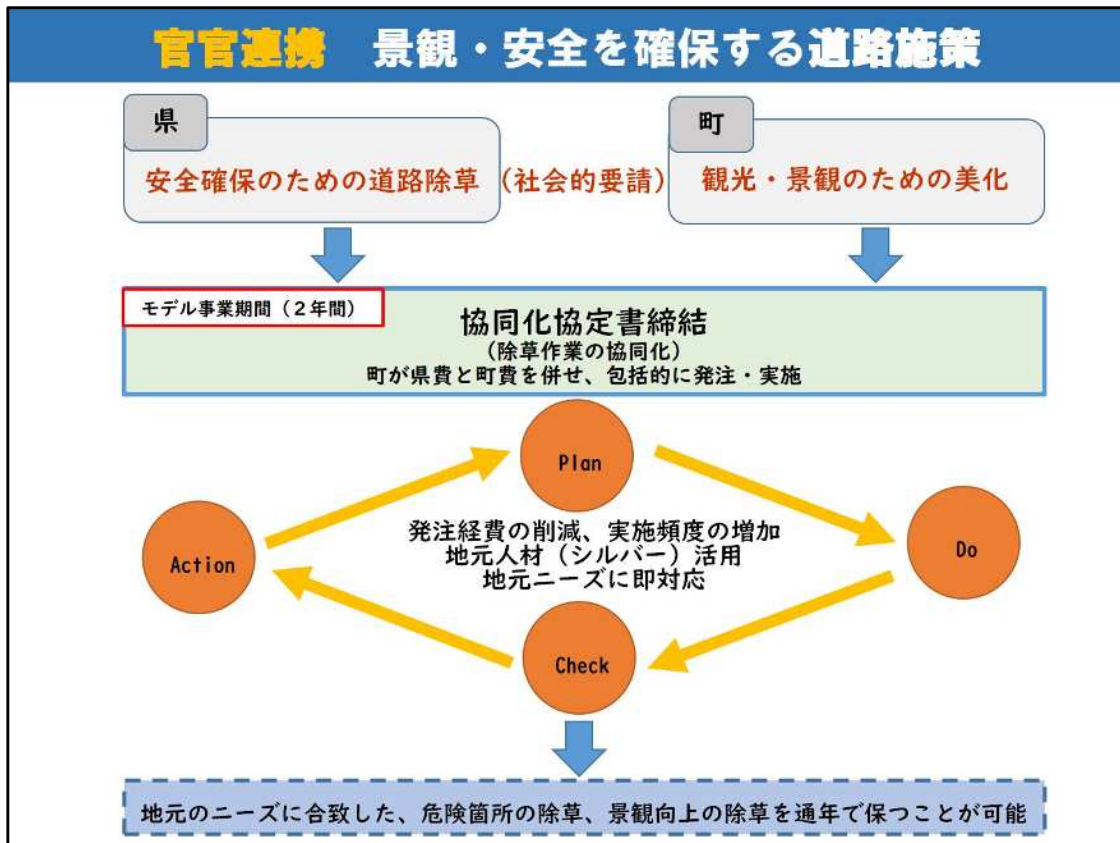


整備前



整備後

その他の道路施策として、修景伐採を実施しています。
伊豆沿岸の素晴らしい眺望を確保していくため、職員が自ら調査し、毎年「もったいない眺望」を復活させています。
しかし、樹木などの木々が繁茂している道路から海側の用地は市町用地、財産区などの道路管理者以外の所有が多い状況です。
このため、道路管理者が「もったいない眺望の復活」のための伐採ができる箇所が限られています。
是非、「ここは民地だが協力できるし、惜しい眺望を復活できる」など情報がりましたらお知らせください。



効率的な工夫です。

今年度、西伊豆町と下田土木事務所が協定を締結した官官連携の道路除草協同化モデル事業です。

これは、西伊豆町内の国道・県道・町道の管理者が協同し、年間を通じて持続的・包括的に除草作業ができる仕組みを構築するためのモデル事業です。

今まで、県管理道路の除草については、道路管理者の視点と地元西伊豆町の視点が異なる事がありました。

例えば、西伊豆町が感じる車両の通行阻害となる木々の繁茂箇所が下田土木事務所の判定と異なったり、

西伊豆町からの要望を聞いてから下田土木事務所が工事を発注すると、工事契約した時には、希望する時期が過ぎているなどです。

このことから、下田土木事務所が900万円を西伊豆町へ負担金としてお渡しし、西伊豆町が西伊豆町費と併せて除草工事を発注し、西伊豆町が必要箇所、必要回数、必要時期などを判断して除草を行うものです。

このように、西伊豆町が一括して道路の維持管理(除草)を行うことにより、

- (1)必要な箇所の速やかな対応
- (2)危険箇所や必要な箇所の適時伐採
- (3)近接する県道、町道を同一日に行うグルーピングなどにより、効率的な交通規制と効果的な作業
- (4)交通整理人の効率的な確保と良好な景観の確保

などが大いに期待できることとなりました。

これにより、常に良好な道路環境を保ち、安全・安心なまちづくりの一層の推進を図ることが期待できます。

民官連携コラボ伐採 景観・安全を確保する道路施策

- 道路管理者ニーズ：下田土木が伐採したい通行支障木
- 電力会社のニーズ：電線管理者が伐採したい電線付近木
- **2者のマッチング**で効率的かつ効果的な伐採を実現！
- よりよい県民サービスを目指し、**今後もチャレンジします！**



効率的な工夫の二つ目です。

民官(みんかん)連携のコラボ伐採です。

電力会社のニーズは異常気象時に停電・通信障害などの原因となる電線・通信線付近の枝葉の刈り取りです。

しかし、枝葉等は刈り取っても比較的簡単に生えてきます。

道路管理者のニーズは車、バスの通行障害となる支障木の伐採です。

しかし、電線の近くは施工に専門の技術が必要です。

今まで道路管理者と電力会社は、近くの現場であっても、別々に刈り取り・伐採をおこない、それぞれに交通規制などをおこなっていました。

しかし、道路管理者と電力会社が連携して作業を行くことで一度に十分な伐採を行うことができ、交通規制期間も縮減されます。

2者のマッチングで効率的かつ効果的な伐採を実現することができました。

今年度もよりよい県民サービスを目指し、コラボ伐採を実施します。

御清聴ありがとうございました



以上で重要施策発表「下田土木事務所の道路事業」の発表を終了します。
厳しい予算状況が続いていますが、引き続き、道路利用者の皆様の安全で円滑な交通を確保し、日常生活の利便性向上が図られるよう、効率的、効果的な道路事業を進めて参ります。

ご清聴ありがとうございました。

行事予定表（令和6年7月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	月					
2	火			けんこうキャンペーン(松崎町共催) 10:00~12:00 マックスバリュ松崎店		
3	水	防災講座 9:20-10:05 稲生沢小学校				
4	木					
5	金	①防災講座 13:10-13:55 浜崎小学校 ②防災講座 16:30-18:00 南伊豆認定こども園				
6	土					
7	日					
8	月					
9	火	防災講座 13:25-15:00 朝日小学校				
10	水		租税教室 13:25~14:10 朝日小学校			
11	木	防災講座 13:00-14:35 下田小学校	租税教室 11:00~11:45 下田小学校			
12	金					
13	土	サテライト地震防災センター 7/13(土)~7/19(金) 湯けむりホール 伊豆半島沖地震から50年 防災シンポジウム 13:00-16:30 湯けむりホール			オンライン就農相談会 10:30-14:10 オンライン	夏季工事抑制期間 7/13(土)~8/18(日)
14	日					
15	月					
16	火	防災講座 9:30-11:30 さくら幼稚園				
17	水					
18	木	災害ボランティア研修会 13:30-16:30 危機管理庁舎			農業気候防止運動中央講習会 14:30-16:30 下田総合庁舎	
19	金	防災講座 9:00-9:30 南伊豆分校				
20	土					
21	日					
22	月	防災講座 9:00-10:30 下田認定こども園		牛乳乳製品料理講習会 10:30~13:30 河津町役場		
23	火	防災講座 13:30-15:00 伊豆松崎分校				
24	水	防災講座 13:15-14:30 伊豆下田分校				
25	木	定例記者懇談会 9:30~ 賀茂キャンパス 小学生職場体験講座 7/25(木)~8/25(日)				
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火	未来を切り拓く Dream授業・賀茂版				
31	水	未来を切り拓く Dream授業・賀茂版				

行事予定表（令和6年7月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金					
6	土					
7	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
21	日					
22	月					
23	火					
24	水					
25	木					
26	金					
27	土					
28	日					
29	月					
30	火					

統計冊子「新 南伊豆のすがた」令和5年版の発行

(賀茂地域局)

(要 旨)

南伊豆地域の過去や現状を深く理解するための様々な統計を掲載し、毎年発行している「新 南伊豆のすがた」の令和5年版がこのたび完成しました。

当冊子は、御希望に応じ無料配布します(下記3参照)とともに、当該掲載データを賀茂地域局のホームページに掲載します(下記4参照)ので、御案内いたします。

1 冊子の概要

- ・ A4版104ページ(モノクロ印刷)

- ・ 収録項目

(1) 概況

市町の沿革、地域の主なできごと他

(2) 人口

人口及び世帯数、高齢者(老年)人口及び高齢化率他

(3) 観光業・商工業の状況

宿泊客数、観光交流客数、事業所の状況他

(4) 県税の状況

税目別納税義務者数、税目別県税額他

(5) 農林水産業の状況

主要農産物出荷額、農林産物への鳥獣被害額他

(6) 交通の状況

伊豆地区有料道路月別通行台数、伊豆急行線各駅乗降人員他

(7) 教育

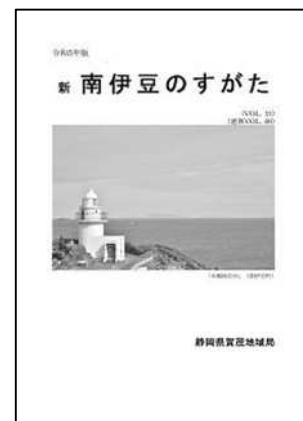
学校数及び児童・生徒数、中学校・高等学校進路別卒業生数他

(8) 財政・生活・その他

市町の財政指標、産業別総生産額、有効求人倍率、安全関連指標他

(9) 付録

伊豆縦貫自動車道の概要図



表紙デザイン

2 配布開始日

令和6年6月25日(火)

3 希望者への配布

(1) 配布数: 220冊程度(無料) ※なくなり次第終了

(2) 配布方法: 来所又は郵送

(3) 配布場所: 賀茂危機管理庁舎(2階地域課)又は下田総合庁舎(1階ロビー)

(4) その他: 郵送を御希望の場合は、郵送先を明記した封筒(角型2号)及び390円分の切手(1冊希望の場合)と使用目的(任意様式)を添えて賀茂地域局まで送付願います。

【送付先】〒415-0037 下田市敷根765-15(賀茂危機管理庁舎)静岡県賀茂地域局

4 ホームページ掲載

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/chiikikyoku/kamochiiki/1004352/1064227.html>

(賀茂地域局/ホーム>賀茂地域局/統計情報>令和5年版新南伊豆のすがた)



担当: 地域課地域班

連絡先: 0558-24-2204

賀茂キャンパスを活用した取組

(賀茂地域局・教育政策課・社会教育課)

(要旨)

賀茂地域の小・中学生及び高校生に夏休みを利用し、日頃できないことを経験してもらうために「未来を切り拓く Dream 授業・賀茂版」、「しずおか寺子屋 in 賀茂」を開催する。

(内容)

①未来を切り拓く Dream 授業・賀茂版

年月日	令和6年7月30日(火)～31日(水)
場 所	下田市内で調整中
内 容	<p>賀茂地域で活躍する講師等による講義、フィールドワーク、グループワーク テーマ：「賀茂の地域資源（歴史などの資源）を生かして賀茂の未来につなげるために」</p> <p>7月30日(火) 講義、グループワーク <講師> 池上重弘氏（静岡県教育委員会教育長） 渡邊秀明氏（蓮台寺まちづくり協議会長） 加納徹也氏（伊豆急行株式会社事業統括部統括課課長補佐） 小村麻衣花氏（元西伊豆町地域おこし協力隊、小村商店） 土屋武彦氏（まつぎき里山ファクトリー代表）</p> <p>7月31日(水) フィールドワーク、グループワーク <フィールドワーク先>上原美術館（下田市）、伊豆ならんだの里（河津町） <講師>田島整氏（上原美術館主任学芸員）</p>
参加 予定者	賀茂地域の中学1～2年生 30名程度

②しずおか寺子屋 in 賀茂

年月日	令和6年8月5日(月)～6日(火)
場 所	下田市内で調整中
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・下田高校の生徒や静岡大学の学生が先生となり、賀茂地域の小・中学生の学習支援をする ・学習支援終了後、高校生、大学生と賀茂地域で勤務する現職教員の交流を実施予定
参加 予定者	賀茂地域の小・中学生 各日50名程度 賀茂地域の高校生、県内大学生 など

担 当 : 賀茂地域局地域課

連絡先 : 0558-24-2202

令和6年度

未来を切り拓く Dream授業・賀茂版

令和6年度のテーマ

「賀茂の地域資源を生かして、 賀茂の未来につなげるために」

賀茂地域の身近な歴史資源等に着目し、地域の活性化や発展につなげるアイデアを考えることを通じて、地域や自分自身の将来について考えます。講師として、賀茂地域の資源を後世に残す活動や魅力発信等を行い、活躍する方々にお話いただきます。

「未来を切り拓く Dream授業・賀茂版」とは・・・

賀茂地域の魅力的な自然、人、文化、産業などに触れ、自分や地域の将来について考える学びの場として、令和2年度から開催しています。



< 申込方法 >

在籍する学校を通じてお申し込みください。

< 問合せ先 >

静岡県教育委員会 教育政策課 政策企画班
☎054-221-3168

主催：賀茂地域広域連携会議 教育部会
(賀茂1市5町・県教育委員会)

◇日程

1日目

7/30(火)9:00～

- ・講義
- ・グループワーク

2日目

7/31(水)9:00～

- ・フィールドワーク※
- ・グループワーク

※上原美術館、
伊豆ならんだの里を見学予定
(貸切バスにて移動)

◇対象

賀茂1市5町の
中学1・2年生(30名)

参加無料

◇講師

※敬称略、五十音順

- ・池上 重弘
(静岡県教育委員会教育長)
- ・加納 徹也
(伊豆急行株式会社 事業統括部
統括課 課長補佐)
- ・小村 麻衣花
(元西伊豆町地域おこし協力隊、
小村商店)
- ・田島 整
(上原美術館上席学芸員)
- ・土屋 武彦
(まつざき里山ファクトリー代表)
- ・渡邊 秀明
(蓮台寺まちづくり協議会長)

◇会場

- ・下田市内で調整中

7月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	7月3日(水) 9:20~10:05	稲生沢小学校 (下田市)	4年生 約30人	サバイバルスキルアップ講座
②	7月5日(金) 13:10~13:55	浜崎小学校 (下田市)	4年生 約10人	サバイバルスキルアップ講座
③	7月5日(金) 16:30~18:00	南伊豆認定こども園 (南伊豆町)	職員 約20人	未定
④	7月9日(火) 13:25~15:00	朝日小学校 (下田市)	5年生 約20人	災害図上訓練「DIG」
⑤	7月11日(木) 13:00~14:35	下田小学校 (下田市)	4年生 約40人	災害時判断ゲーム
⑥	7月16日(火) 9:30~11:30	さくら幼稚園 (河津町)	全園児 約50人	地震体験(車)、防災ダック ※幼稚園主催の防災訓練実施
⑦	7月19日(金) 9:00~9:30	南伊豆分校 (南伊豆町)	全校生徒 約60人	地震体験(車) ※学校主催の防災訓練実施
⑧	7月22日(月) 9:00~10:30	下田認定こども園 (下田市)	職員 約10人	災害図上訓練(DIG)
⑨	7月23日(火) 13:30~15:00	伊豆松崎分校 (松崎町)	職員 約15人	避難所運営ゲーム(HUG)
⑩	7月24日(水) 13:15~14:30	伊豆下田分校 (下田市)	職員 約20人	災害時判断ゲーム

(お願い)

- ・防災講座の取材においては、各学校に取材を行う旨をご連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは、下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 鈴木
連絡先：0558-24-2004

南伊豆町役場におけるサテライト地震防災センターの設置 ～伊豆半島沖地震から50年 防災シンポジウムの開催を契機として～

(賀茂地域局)

1 概要

県民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、7月13日（土）から19日（金）（14、15日を除く）の5日間、南伊豆町役場に「サテライト地震防災センター」を設置する。

なお、13日（土）は、南伊豆町役場において、「伊豆半島沖地震から50年 防災シンポジウム」を開催する。

2 サテライト地震防災センターの概要

(1) 期間：令和6年7月13日（土）から19日（金）※14、15日を除く

(2) 会場：南伊豆町役場「湯けむりホール」前

(3) 内容

- ① パネル展示（地震、風水害等）他
- ② 浸水体感VR
- ③ 災害疑似体験VR
- ④ 地震体験（車） ※13日のみ実施、雨天中止

参考（伊豆半島沖地震から50年 防災シンポジウム）

- ・ 日 時：令和6年7月13日（土）13:00～16:30
- ・ 会 場：南伊豆町役場併設湯けむりホール（南伊豆町下賀茂315-1）
- ・ 定 員：対面120名 オンライン配信あり
- ・ 参加費：無料
- ・ 問い合わせ：美しい伊豆創造センター0558-72-0280（平日8:30～17:15）

1974 Izu Peninsula

写真出典：伊豆半島沖地震災害警備誌 静岡県警察本部

伊豆半島沖地震から50年 防災シンポジウム

基調講演

1974年伊豆半島沖地震の意味と教訓
小山真人（静岡大学防災総合センター）

能登半島地震の概要と南伊豆地域との比較
北村晃寿（静岡大学防災総合センター）

南海トラフ地震の被害と伊豆地域の課題
岩田孝仁（静岡大学防災総合センター）

2024

7月13日(土)

13:00～16:30（開場 12:30）

南伊豆町役場併設湯けむりホール
（南伊豆町下賀茂 315-1）

オンライン配信あり

参加費：無料

パネルディスカッション

コーディネーター

川端信正（元静岡放送記者）

パネリスト

基調講演者3名

池野玉枝（南伊豆町在住、伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド）

2024 Noto Peninsula

撮影：小山真人

伊豆半島沖地震から50年防災シンポジウム

2024年元日に発生した能登半島地震は、家屋倒壊、土砂崩れ、液状化、津波、道路復旧の遅れなどの原因によって長引く復旧など様々な問題を日本社会に投げかけるとともに、類似した地形を有し南海トラフ地震のリスクに直面する伊豆半島にとっても、それらの対策が喫緊の課題であることを改めて認識させた。

こうした自然災害を次世代に語り継ぎ、ひいては地域社会の防災力を高めることは、伊豆半島が認定されたユネスコ世界ジオパークの重要な目的のひとつである。本シンポジウムは、1974年伊豆半島沖地震によって大きな被害を受けた賀茂地域において、いま一度その位置づけや教訓を振り返り、やがて起きる震災への心構えと備えを高める機会とすることを目的とする。



Masato Koyama

小山真人

静岡大学名誉教授、静岡大学防災総合センター客員教授、美しい伊豆創造センター・ジオパーク委員会顧問。専門は火山学、地質学。

伊豆半島の地質と噴火史・地殻変動史を長年研究し、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの設立と認定に多大な貢献をおこなった。これらの功績で、令和5年度に日本火山学会賞、文部科学大臣表彰、防災功労者内閣総理大臣表彰を授与された。



Akihisa Kitamura

北村晃寿

静岡大学防災総合センター長、静岡大学理学部地球科学科教授。専門は古生物学、第四紀学。

その専門知識を活かして伊豆半島も含む静岡県内の津波堆積物、地殻変動、土石流などの精力的な調査を行い、数々の成果を挙げた。現在、日本古生物学会の会長、日本第四紀学会の副会長を務めている。



Takayoshi Iwata

岩田孝仁

静岡大学防災総合センター特任教授（前センター長）、内閣府火山防災エキスパート。静岡県庁職員として南海トラフ地震対策や富士山の火山防災対策に携わり、防災情報室長、危機報道監、危機管理監などを歴任し、静岡大学地域創造学環教授も務めた。これらの功績で、令和2年度に防災功労者内閣総理大臣表彰を授与された。現在、日本災害情報学会の会長を務めている。



Nobumasa Kawabata

川端信正

元静岡放送記者として防災報道に長年携わった経験をもとに静岡県防災情報研究所の客員研究員や静岡県地震防災センターのアドバイザーを歴任し、伊豆東部火山群防災協議会委員を務めている。1974年伊豆半島沖地震の際には、地元メディアとして静岡放送が最初に被災地に入った際のテレビ中継に携わり、以後伊豆東部における群発地震から海底噴火に至るまでの一連の取材活動を経験した。



Tamae Ikeno

池野玉枝

1974年伊豆半島沖地震の際に大きな被害を受けた南伊豆町中木地区の出身で、町役場職員在職中に地震を体験する。その後会社員を務め、2016年より伊豆半島ジオパーク認定ジオガイドとして、教育・ジオツアー・災害ボランティアコーディネート等の活動に取り組んでいる。

日時：2024年7月13日（土）13:00～16:30（開場 12:30）

会場：南伊豆町役場併設湯けむりホール（南伊豆町下賀茂 315-1）駐車場あり

定員：対面 120名 オンライン配信あり（申込時に選択） 参加費：無料

申込み方法：右記 QRコードもしくは <https://forms.gle/MVFy3r8Vy9XVbeoP8> より専用フォームにて受付 締切 7月10日

お問合わせ：美しい伊豆創造センター 0558-72-0280（平日 8:30～17:15）

共催 一社 美しい伊豆創造センター・静岡大学未来社会デザイン機構・静岡大学防災総合センター
後援（予定）美しい伊豆創造センター構成 15市町・静岡県（危機管理部・賀茂地域局・東部地域局）
国土交通省・気象庁・伊豆新聞社・静岡新聞社・伊豆半島ジオガイド協会

台風などの自然災害により開催が中止となる場合もございますことをご了承ください。



災害ボランティア研修会の開催

(賀茂地域局)

(目的)

各地域局、各市町、社会福祉協議会、災害ボランティア団体が、顔が見える関係を構築し、日頃の活動の情報共有や各市町におけるボランティア活動について意見交換する機会を創出する。

(概要)

1 日時

令和6年7月18日(木) 13:30～16:30

2 場所

静岡県賀茂危機管理庁舎 1階各班室

※県庁と各地域局をオンラインで結ぶWEB方式と、リアル会場での対面を組み合わせたハイブリッド方式による研修会を開催する。

3 プログラムの内容

- (1) 全体挨拶
- (2) 講師及び地域コーディネーター紹介
- (3) 石川県珠洲市の活動事例紹介

・石川県珠洲市健康増進センター所長 さんじょう 三上 とよこ 豊子 氏

・石川県珠洲市社会福祉協議会災害ボランティア担当 じんとく 神徳 ひろき 宏紀 氏

- (4) 各地域局にてワークショップ
- (5) 各地域局ごと報告発表
- (6) 総括

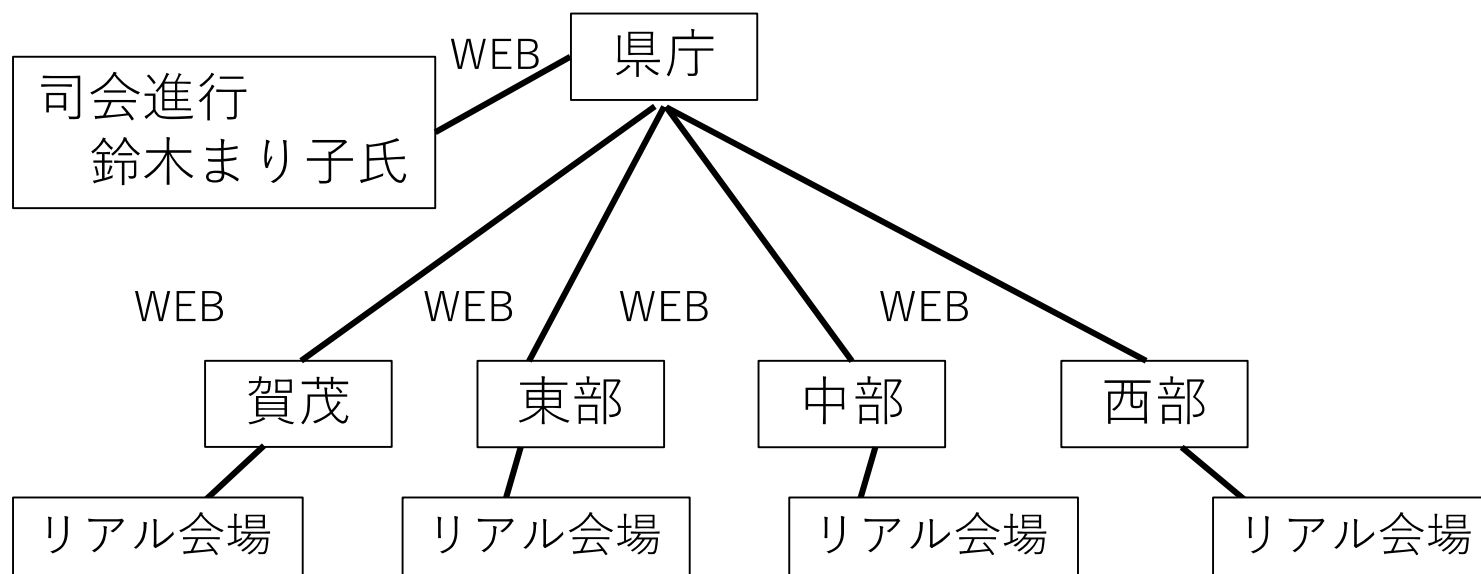
4 参加機関(予定)

賀茂管内の災害ボランティアコーディネート団体、賀茂管内の社会福祉協議会、管内市町、静岡県

担当：主任 鈴木

連絡先：0558-24-2004

災害ボランティア研修会 令和6年7月18日(木)午後1時半～



後半講師
地域コーディネーター

- 市、○町
- 市○町社会福祉協議会
- 市災害ボランティア
- 町災害ボランティア
- ボランティアの会

後半講師
地域コーディネーター

- 市、○町
- 市○町社会福祉協議会
- 市災害ボランティア
- 町災害ボランティア
- ボランティアの会

後半講師
地域コーディネーター

- 市、○町
- 市○町社会福祉協議会
- 市災害ボランティア
- 町災害ボランティア
- ボランティアの会

後半講師
地域コーディネーター

- 市、○町
- 市○町社会福祉協議会
- 市災害ボランティア
- 町災害ボランティア
- ボランティアの会

“税金は何に使われているの？” ～ 小学校で租税教室を行います ～

(下田財務事務所)

1 概要

下田市・賀茂郡租税教育推進協議会（事務局：下田税務署）が実施する「租税教室の開催」事業で、下田財務事務所の若手職員が下田市内の小学校2校に対して租税教室を行います。

(租税教室の目的)

- ・我が国の次代を担う生徒・児童に対して健全な納税者意識を養います。
- ・「支え合いにより成り立っている社会」で、税金が社会を支えるための「会費」であるというイメージをもってもらいます。

2 実施校・日時

(1) 朝日小学校（下田市吉佐美 544）

- ・日時 令和6年7月10日（水） 午後1時25分～2時10分
- ・対象 6年生15名 担当 杉本教諭（電話 0558-22-0702）

(2) 下田小学校（下田市5丁目3-1）

- ・日時 令和6年7月11日（木） 午前11時00分～11時45分
- ・対象 6年生34名 担当 平馬教諭（電話 0558-22-0055）

3 租税教室の内容

- ・身近な学校に関わる税金についてクイズ
- ・納付した税金が具体的に何に使われているか
- ・国税庁作成 税教育用DVD（「マリンとヤマト 不思議な日曜日」）鑑賞

4 注意事項（撮影について）

学校に取材の了解はいただいておりますが、個人情報等の扱いには十分配慮して撮影をお願いします。

担当：管理課 高木
連絡先：0558-24-2013



【昨年度の様子】

賀茂地域オンライン就農相談会の開催

(賀茂農林事務所)

(要旨)

賀茂農林事務所では、賀茂地域での就農希望者を対象に、相談会をオンライン形式で開催します。

相談会では就農までのステップや支援制度の紹介等を行い、農業観の醸成や就農への理解を促します。

(概要)

1 開催日時

- (1) 令和6年7月13日(土)
- (2) 令和6年10月12日(土)
- (3) 令和7年1月18日(土)

※ 各回午前10時30分から午後2時10分まで
相談時間は1組当たり40分間

2 対象者

賀茂地域で就農を希望する者

- ・ 所定の様式にて事前申込が必要
- ・ 定員は各回3組(計9組)、応募多数の場合は抽選により決定

3 開催方法

Web会議システムZoomを使用

事前相談内容をもとに、関係機関のオンライン参加により充実した相談を実施

4 その他

参加費無料(通信費は自己負担)

管内市町、公益社団法人静岡県農業振興公社、県庁へ開催通知済

担当：企画経営課

連絡先：0558-24-2076

伊豆南端で農業を やってみませんか？

伊豆半島南部地域で新規に就農を考えている方に対し、新規就農に至るまでのステップについて、本県の支援制度を紹介しながら個別の相談に対応します！

対象者

伊豆半島南部（下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）地域で農業を希望する方

開催日

第1回目 令和6年7月13日（土）

第2回目 令和6年10月12日（土）

第3回目 令和7年1月18日（土）

時間割

①10：30～、②11：30～、③13：30～
各回40分、3組限定

相談方法

Webで実施（Zoomを使用）

申込方法

別紙様式「就農相談カード」を開催日の2週間前までにメールにてお申し込みください。

参加費

無料 ※通信費は御負担願います。

留意事項

- ・インターネット環境、Web会議用端末を御用意ください。
- ・Web会議の方法は別途御案内いたします。
- ・応募者多数の場合、抽選を行います。抽選から外れた方は、次回の相談機会を御案内します。

静岡県賀茂農林事務所企画経営課

住所 〒415-0016 静岡県下田市中531-1

✉ kamonou-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

☎ 0558-24-2076

就農相談カード

令和 年 月 日

今回の相談のきっかけ	対応者所属()
<input type="checkbox"/> 県HP <input type="checkbox"/> 公社HP <input type="checkbox"/> 移住サイトゆとりすと静岡 <input type="checkbox"/> 農業をはじめ.jp	氏 名()
<input type="checkbox"/> 静岡県移住相談センター <input type="checkbox"/> 各種相談会 <input type="checkbox"/> その他()	

1 就農相談状況

相談回数	前回相談年月	前回相談先	就農検討段階※
今回で 回目	年 月		1・2・3・4

※ 1: 就農に興味を持ち始めた 2: 作目や地域について検討中 3: 就農へのイメージが具体的になった 4: 研修中、就農計画の立案中

2 相談者情報

フリガナ		住所	〒
氏 名	(歳)		
生年月日	年 月 日生	電話番号	
性 別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	Eメール	
出 身	<input type="checkbox"/> 農家 <input type="checkbox"/> 非農家	家族構成	配偶者の有無 有・無 子供 人
職 業	<input type="checkbox"/> 会社員(業種:) <input type="checkbox"/> 自営業(業種:) <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト(業種:) <input type="checkbox"/> 無職(前職:) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他()		
免許・資格	<input type="checkbox"/> 普通運転免許 <input type="checkbox"/> その他()		

3 相談内容

希望就農形態	<input type="checkbox"/> 専業 <input type="checkbox"/> 第1種兼業 <input type="checkbox"/> 第2種兼業 <input type="checkbox"/> 法人就職 <input type="checkbox"/> その他()		
農業経験	<input type="checkbox"/> 全くなし <input type="checkbox"/> 体験程度 <input type="checkbox"/> 研修中・研修済み(年数: 、作目:) <input type="checkbox"/> その他		
相談内容	<input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 資金 <input type="checkbox"/> 体験 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 作目 <input type="checkbox"/> 法人就職 <input type="checkbox"/> その他()		
作 目	<input type="checkbox"/> 稲作 <input type="checkbox"/> 麦類 <input type="checkbox"/> 豆芋雑穀 <input type="checkbox"/> 露地野菜() <input type="checkbox"/> 施設野菜() <input type="checkbox"/> 花き() <input type="checkbox"/> 工芸作物() <input type="checkbox"/> 果樹() <input type="checkbox"/> 畜産() <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 未定		
農 地	<input type="checkbox"/> あり(面積 a、所在地) <input type="checkbox"/> なし		
就農希望時期		就農希望地	
自己資金	万円	家族の同意	<input type="checkbox"/> あり(備考) <input type="checkbox"/> なし
自由記載(上の項目欄で書き切れない相談、移住など)			
※相談受付機関記入欄			
受付区分	<input type="checkbox"/> 面談 <input type="checkbox"/> 文書 <input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> Web会議 <input type="checkbox"/> その他		
対応方法	<input type="checkbox"/> 助言指導 <input type="checkbox"/> 資料提供 <input type="checkbox"/> 関係機関への紹介 <input type="checkbox"/> その他		

私(相談者)は、記載の個人情報について、就農支援の目的により関係機関(県、関係市町、関係農業協同組合等)に提供することについて、同意します。

令和 年 月 日 (自署※)

※電話やWeb会議による相談のため、自署が難しい場合は、以下に確認者氏名を記載する。

(自署)

農薬危害防止運動中央講習会の開催

(賀茂農林事務所)

(中央講習会の開催)

農薬危害防止運動の活動の一つとして、賀茂地区の関係者を対象に運動の趣旨の徹底を図るため講習会を開催する。

1 日 時

令和6年7月18日(水) 14:30～16:30

2 場 所

下田総合庁舎2階第3会議室

3 内 容

- (1) 農薬の安全使用について (賀茂農林事務所)
- (2) 毒物劇物の取扱について (賀茂健康福祉センター)
- (3) 農薬の販売について (下田警察署)

4 参集者

農薬使用者、農薬販売者、農産物直売所、農協、市町

<参考>

(農薬危害防止運動とは)

農薬取締法、毒物及び劇物取締法等の関係法令に基づき、農薬の適正な販売、安全かつ適正な使用、管理及び農薬使用者の自発的な知識、理解の向上等を推進するため、農林水産省、厚生労働省及び環境省の指導の下、関係諸団体の協力を得て、「農薬危害防止運動」を実施している。

(実施期間)

令和6年6月1日から8月31日まで

(活動内容)

- 1 農薬の安全使用に関する講習会の開催
 - (1) 中央講習会 (農薬使用者、農薬販売者、関係機関向け)
 - (2) 地域講習会 (農薬使用者向け)
- 2 農薬販売者・農薬使用者に対する立入指導の実施
- 3 広報・ポスター等による啓発活動

担 当：地域振興課
連絡先：0558-24-2079

夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について

(下田土木事務所)

(要旨)

夏季観光シーズンにおける、渋滞の緩和や観光客の安全確保のため、県、市町及び事業者（電気、ガス、電話等）が協力し、観光交通に影響を及ぼす主要路線の道路工事を自粛する。

(概要)

1 期 間

令和6年7月13日（土） から 令和6年8月18日（日）まで

2 内 容

緊急工事を除き、原則として車線規制を伴う道路工事は実施しない。

3 対象路線

国道 135号	県道 熱川片瀬線
国道 136号	県道 稲取港線
国道 414号（旧道区間を除く）	県道 須崎柿崎線
県道 下佐ヶ野谷津線	県道 手石湊線
県道 下田松崎線	県道 松崎港線
県道 下田石廊松崎線	県道 稲取停車場線

<参考> 対象外路線

国道 414号（旧道区間）	県道 波勝崎線
県道 伊東西伊豆線	県道 仁科峠宇久須線
県道 湯ヶ野松崎線	県道 下田港線
県道 下田南伊豆線	県道 蓮台寺本郷線
県道 南伊豆松崎線	県道 河津下田線

担 当 ： 維持管理課管理班

電話番号：0558-24-2108

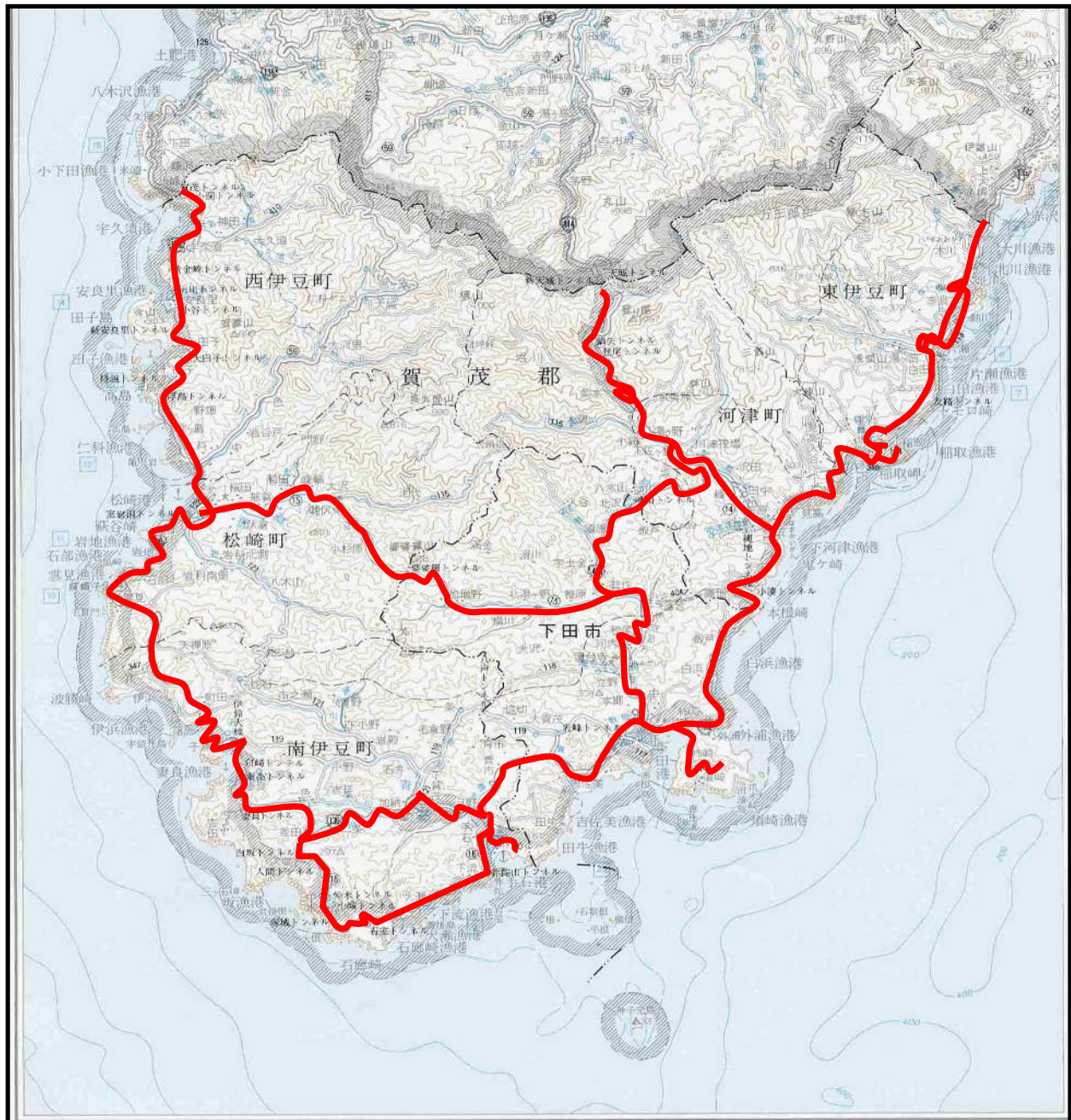
夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛について(お知らせ)

下田土木事務所では、夏季観光シーズンの渋滞対策として、工事施工業者および占用工事関係者の方々の御協力をいただき、車線規制を伴う道路工事を自粛します。

<期間> 令和6年7月13日(土) ~ 令和6年8月18日(日)

<対象路線> (下記赤着色路線)

- | | |
|-------------------|------------|
| ・国道 135号 | ・県道 熱川片瀬線 |
| ・国道 136号 | ・県道 稲取港線 |
| ・国道 414号(旧道区間を除く) | ・県道 須崎柿崎線 |
| ・県道 下佐ヶ野谷津線 | ・県道 松崎港線 |
| ・県道 下田松崎線 | ・県道 手石湊線 |
| ・県道 下田石廊松崎線 | ・県道 稲取停車場線 |



※なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

問い合わせ先
〒415-0016 下田市中531-1
静岡県下田土木事務所
担当:維持管理課
電話番号:0558-24-2108